

世界史

解答範囲は、解答番号 から までです。

I 次の文を読み、下の問い(問1～問11)に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

ティーヴン・グリーンブラット『一四一七年、その一冊がすべてを変えた』河野純治訳、一部改変)

From THE SWERVE: HOW THE WORLD BECAME MODERN by Stephen Greenblatt. Copyright © 2011 by Stephen Greenblatt. Used by permission of W. W. Norton & Company, Inc.

以上の文章は1417年にイタリアの人文主義者ボッジョ＝ブラッチョリーニによって発見されたルクレティウス『事物の本性について』という書物がもたらした影響についてのものである。『事物の本性について』は宇宙のあり方を詩の形式で解説する本であるが、著者ルクレティウスの生涯については詳しいことはほとんど分かっていない。ただ、紀元前90年代に生まれて同50年代に死んだことはほぼ間違いなく、共和政ローマ末期の戦乱時代を生きた詩人・哲学者である。その内容は当時としては驚くべきもので、無限の真空のなかを動く原子によって万物を説明し、宇宙を創造した神は

存在せず、人間は特別な存在でもなく、死後の世界は存在しない、と説いていた。当然ながら無神論的で危険な書物とも見なされたが、ルネサンス期の思想に多大な影響を与え、近代科学の基礎である原子論の発展の一つの基礎となったのである。

『事物の本性について』はラテン語の詩として非常に高く評価されており、ウェルギリウスにも大きな影響を与えたことが知られているが、その内容については、ヘレニズム時代の哲学者であるエピクロスに全面的に依拠している。エピクロスは紀元前342年頃にアテネの植民市があるサモス島で生まれ、後に「エピクロスの園」と呼ばれる学園をアテネに開いたことで知られている。彼の原子論的自然理解や幸福を人生の目的とする哲学は、後世に大きな影響を与えた。共和政末期の古代ローマではエピクロスの哲学が流行しており、ルクレティウスはその流行の只中にいたのである。

問1 下線部③について。「世界全体についての合理的理解」とは近代の科学的世
界観のことです。近代科学の発展に関する記述として誤っているものを、次の
中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ケプラーが宇宙進化論を説き、長期にわたる宇宙の変化が学問の対象になった。
- ② ニュートンが万有引力の法則を発見し、近代物理学の基礎を築いた。
- ③ 近代化学の父とされるボイルが気体の体積と圧力の関係を明らかにした。
- ④ マイヤーとヘルムホルツがエネルギー保存の法則を発見し、熱力学の発展に道を開いた。

問2 下線部⑤について。世界史上のさまざまな「革命」に関する記述として誤っ
ているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① イギリスでは名誉革命によって国王が処刑され共和政が開始された。
- ② アメリカ独立革命は君主政のイギリスから脱し人民自らによる共和国を樹立した。
- ③ ハイチ革命は奴隷だった黒人たち自身による共和国を実現した。
- ④ キューバ革命ではカストロによってバティスタ親米政権が倒された。

問3 下線部⑥について。ヨーロッパ人によるアメリカ大陸進出に関する記述とし
て誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ジェノヴァ出身のコロンブスは、トスカネリの地球球体説を信じて大西洋を横断し、サンサルバドル島に到達した。
- ② ポルトガルとスペインはトルデシヤス条約を結び、教皇子午線を修正して勢力範囲を定めた。
- ③ 植民者が持ち込んだ天然痘・ペスト・インフルエンザなどの疫病のため、アメリカ大陸の人口は激減した。
- ④ スペイン領ではエンコミエンダ制が導入されたが、「エンコミエンダ」とは「委託」を意味し、教皇から先住民の保護とキリスト教化を委ねられたとされていた。

問4 下線部④について。ヨーロッパでは15世紀後半に活版印刷術が実用化される
ことで、本を手で書き写す必要がなくなり、情報伝達に一大変化がもたらされ
ました。ヨーロッパで活版印刷術を改良・普及した人物として正しいものを、
次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ブルネレスキ
- ② グーテンベルク
- ③ ガリレオ＝ガリレイ
- ④ ロイヒリン
- ⑤ レオナルド＝ダ＝ヴィンチ

問5 下線部⑦について。人文主義（ヒューマニズム）に関する記述として正しい
ものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 個性や感情を重んじ、民族の精神や起源を見出そうとする思想。
- ② 理性重視の立場から、教会や王政を批判する思想。
- ③ キリスト教以前の古典古代を理想として、人間のあるべき姿を探究する思想。
- ④ 科学的な方法を取り入れて、知識の対象を観察できる事実に限定する思想。

問6 下線部①について。

(ア) 共和政ローマに関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選
びなさい。

解答番号

- ① 中小農民を主とする平民（プレブス）は、重装歩兵として軍勢力の主力であったため、権利の拡大を要求して貴族（パトリキ）と対立した。
- ② ソロンは債務によって奴隷になることを禁止して平民を保護し、財産額によって政治的権利・義務に差をつけたが、財産のある貴族の地位は揺るがなかった。
- ③ リキニウス・セクスティウス法によって執政官（コンスル）のうち一人は平民から選ばれるようになった。
- ④ ホルテンシウス法によって平民会の議決も国法として認められるようになったが、従来の貴族に一部の富裕な平民が加わって新貴族（ノビレス）を形成した。

一般選抜入試(中期日程)

世界史(2月15日)

(イ) 古代ローマの共和政から帝政への移り変わりの過程に起きた以下の出来事
A～Eが起きた順序として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

7

- A. 同盟市戦争
- B. アクティウムの海戦
- C. カエサルによるガリア征服
- D. スパルタクスの反乱
- E. グラックス兄弟の改革

- ① A→C→B→E→D
- ② A→E→D→B→C
- ③ C→E→D→B→A
- ④ C→E→A→D→B
- ⑤ E→D→A→B→C
- ⑥ E→A→D→C→B

問7 下線部⑥について。古代ギリシアで原子論を唱えた哲学者として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

8

- ① プロタゴラス
- ② タレス
- ③ アルキメデス
- ④ アリストタルコス
- ⑤ デモクリトス

問8 下線部⑥について。ウェルギリウスの著作『アエネイス』の内容に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

9

- ① カエサルのガリア遠征について詳述したもの。
- ② 王政・貴族政・民主政の政体循環史観を説くもの。
- ③ 当時知られていた全世界の地誌を記述したもの。
- ④ トロイア戦争の後日譚としてローマの建国を描いたもの。

問9 下線部①について。

(ア) ヘレニズム時代に関する記述として誤っているものを、次の中から二つ選び、解答番号10の欄を使用して、二つの番号をマークしなさい。

解答番号

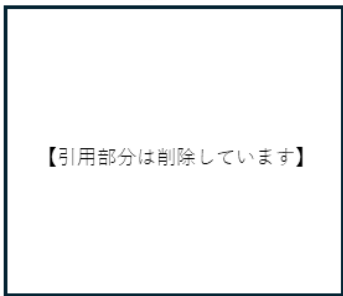
10

- ① アレクサンドロスがマケドニア・ギリシア連合軍を率いて行なった東方遠征は、イッソスの戦いなどでペルシア軍を連破し、ガンジス川流域まで及んだ。
- ② アレクサンドロスはペルシア帝国の継承者と自称して、宮廷と官僚機構をアケメネス朝から引き継いだ。
- ③ アレクサンドロスの死後、その領土は彼の部下であった後継者たち(ディアドコイ)によって分割された。
- ④ エジプトのアレクサンドリアには大図書館をそなえた研究所(ムセイオン)がつくられ、学問の中心となった。
- ⑤ アンティゴノス朝マケドニアが弱体化した結果、ギリシア人が独立してバクトリアを建てた。
- ⑥ ボリスや民族の枠を超えた世界市民主義(コスモポリタニズム)や個人主義の風潮が芽生えた。

(イ) ヘレニズム時代を代表する以下の彫刻の名称として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

11



サイネットフォト

- ① アガメムノン
- ② サモトラケのニケ
- ③ イリアス
- ④ メディア
- ⑤ ラオコーン

問10 下線部①について。ヘレニズム時代の哲学としてエピクロス派と並び称される流派にストア派があります。ストア派の祖とされる哲学者として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

12

- ① ソクラテス
- ② ゼノン
- ③ プラトン
- ④ ソフォクレス
- ⑤ ビュタゴラス

問11 下線部⑤について。古代ギリシアのアテネに関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

13

- ① 僧主バイシストラトスは中小農民の保護をはかったが、経済の衰退をもたらした。
- ② クレイステネスが10部族制や500人評議会を創設して民主政の基礎を作った。
- ③ ペリクレスの計画下、パルテノン神殿が建てられ、民主政の最盛期を象徴するものとなった。
- ④ デロス同盟の盟主として勢力を増したが、ペロポネソス同盟の盟主スパルタとの対立が深まり、ペロポネソス戦争が起きた。

Ⅱ 次の文(1)～(3)を読み、下の問い(問1～問11)に答えなさい。

- (1) 9世紀半ば、ウイグルが崩壊すると、モンゴル高原を統一できる勢力はしばらく現れなかった。それは、遼・金・西夏・西遼などの国家の干渉が原因でもあった。しかし、13世紀初め、モンゴルのチンギス=ハン(カン)がトルコ系・モンゴル系の遊牧諸集団を統合して高原の統一を果たした。新たな軍事・行政制度を作り上げたチンギス=ハンは遊牧民を結集して金朝を討ち、さらに西方への大規模な遠征を行なった。彼の死後もモンゴルは拡大を続け、第2代オゴタイ(オゴデイ)の時には金を滅ぼして華北を支配し、さらには南ロシアから東ヨーロッパに至るまでの大遠征を行ない、第4代モンケの時に西アジアに遠征軍を派遣している。
- 第5代のフビライ(クビライ)は都を ア から大都に遷し、国号を元と定めた。13世紀後半には、南宋の征服に成功し、ユーラシアの広範囲を支配する大帝 国 が出現することになった。

問1 下線部③について。ウイグル・金・西夏・西遼に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 14

- ① ウイグルは遊牧民と農耕民を支配し、二重統治体制を敷いた。
② 金では紙幣として交子・会子が使われた。
③ 西夏はチベット系タングート族によって建国された。
④ 西遼は中央アジアへ進出し、サマーン朝から政権を奪った。

問2 下線部⑤について。この軍事・行政制度を何と言いますか。次の中から正しいものを一つ選びなさい。

解答番号 15

- ① 千戸制 ② 衛所制 ③ 里甲制
④ 三圃制 ⑤ 猛安・謀克の制

問3 空欄 ア に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

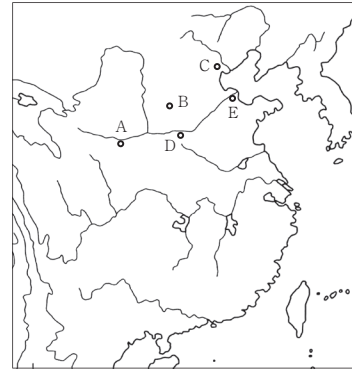
解答番号 16

- ① サマルカンド ② サライ ③ イスタンブル
④ アルマリク ⑤ カラコルム

問4 下線部④について。大都の位置として正しいものを、次の地図の中から一つ選びなさい。

解答番号 17

- ① A ② B ③ C ④ D ⑤ E



(現在の地形図に基づく)

問5 下線部④について。この頃に至るまでのモンゴル帝国の拡大に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 18

- ① チンギス=ハンはホラズム(ホラズム=シャー)朝を滅ぼした。
② オゴタイの時にハイドゥを南ロシア・東ヨーロッパに派遣した。
③ モンケの時にアッパース朝を滅ぼした。
④ フビライの時に日本遠征を行なった。

- (2) モンゴル帝国は、ユーラシア各地に建てられた元(大元ウルス)・キプチャク=ハン国(ジョチ=ウルス)・イル=ハン国(フレグ=ウルス)・チャガタイ=ハン国(チャガタイ=ウルス)などのモンゴル政権が自立を保ちながらも、ゆるやかに連合していた。モンゴルは商業・貿易を重視したため、ユーラシア規模で経済や文化がたいへん盛んとなり、東西文化の交流が進んだ。

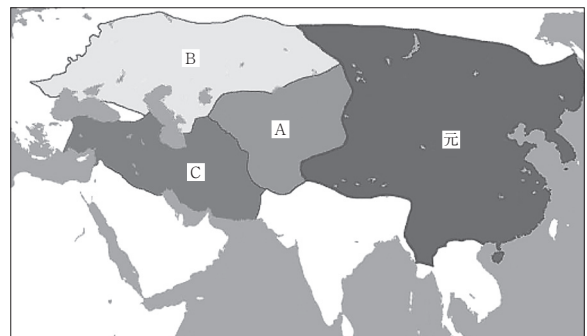
元の都やかつての南宋の都であった杭州も、西方からやって来る多くの人々でにぎわい、民衆の間では演芸や娯楽が盛んになり、宋代に芽生えた庶民文学が定着した。

問6 下線部④について。

- (ア) 下記の地図にあるA～Cとキプチャク=ハン国・チャガタイ=ハン国・イル=ハン国の位置の組み合わせとして正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 19

	キプチャク=ハン国	イル=ハン国	チャガタイ=ハン国
①	A	B	C
②	A	C	B
③	B	C	A
④	B	A	C
⑤	C	A	B
⑥	C	B	A



一般選抜入試(中期日程) 世界史(2月15日)

- (イ) 各ハン国に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。
- 解答番号
- ① イル＝ハン国では、ガザン＝ハンがキリスト教を国教とした。
- ② イル＝ハン国では、宰相のラシード＝アッディーンが『集史』を編纂した。
- ③ 14世紀末に弱体化したキプチャク＝ハン国は、ブハラ＝ハン国やヒヴァ＝ハン国などに分裂した。
- ④ チャガタイ＝ハン国は14世紀半ばに分裂し、内紛に乗じてウルグ＝ベクが台頭して政権を樹立した。

- 問7 下線部①について。
- (ア) モンゴル帝国時代の東西文化の交流に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。
- 解答番号
- ① ジャムチと呼ばれた駅伝制が施行され、交通路が整備された。
- ② エウクレイデスの幾何学が中国に伝わり、漢訳の『幾何原本』が刊行された。
- ③ 西方では、中国画の影響を受けた写本絵画(細密画)が発展した。
- ④ 西アジアの天文学の技術が取り入れられ、中国各地に観星台が設けられた。

- (イ) また、西方からやってきた人物と関連する事柄の組み合わせとして正しいものを、次の中から一つ選びなさい。
- 解答番号
- ① ブラノ＝カルビニ ― フランス王ルイ9世の使節
- ② ルブルック ― ローマ教皇の使節
- ③ マルコ＝ポーロ ― 『旅行記』(『三大陸周遊記』)
- ④ イブン＝バットゥータ ― 『世界の記述』(『東方見聞録』)
- ⑤ モンテ＝コルヴィノ ― カトリックの布教

- 問10 下線部①について。高麗に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。
- 解答番号
- ① 建国者の王建は新羅を滅ぼし、都を開城に置いた。
- ② 両班は高麗に始まった社会的特権階級である。
- ③ 仏教が盛んで、『大藏経』が刊行された。
- ④ 親元派と親明派の対立が続く中、親明派の李舜臣が高麗を滅ぼし、朝鮮王朝を建てた。

- 問11 下線部①について。オイラトに関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。
- 解答番号
- ① エセンがハーンを名乗った。
- ② 土木の変を起こし、明の永楽帝を捕らえた。
- ③ オイラトの攻勢により、明は長城を改修して備えた。
- ④ 清朝時代に強勢を誇ったジュンガルはオイラトの一部族である。

- 問8 下線部②について。元代の庶民文学の代表として雑劇(戯曲)から発達した元曲があげられます。その作品として正しいものを、次の中から三つ選び、解答番号23の欄を使用し、三つの番号をマークしなさい。

- 解答番号
- ① 『琵琶記』 ② 『儒林外史』 ③ 『金瓶梅』
- ④ 『西廂記』 ⑤ 『聊齋志異』 ⑥ 『漢宮秋』

- (3) 東西交流の活発化により隆盛を極めたモンゴル帝国であったが、14世紀半ば以降、ユーラシア規模の気候変動や疫病の流行のため、ヒトとモノの移動を抑制せざるを得ず、急速に衰えていった。元でも数々の社会不安から農民反乱が各地に起こり、その中から江南で建国された明が軍を北上させたため、1368年、元はモンゴル高原に退いた。^①
- その後もモンゴル高原では、チンギス＝ハンの子孫が勢力を保っていたが、これまで服属していた高麗^①など周辺の国々もモンゴルの支配から離脱した。また、モンゴルに対抗する遊牧勢力として台頭したオイラト^①が、15世紀中ごろには強大化し、明は劣勢に立たされた。
- 清朝が興ると、17世紀前半にモンゴル・元朝直系の子孫がハンの位を譲り、その配下となり、18世紀半ばには、オイラトの勢力も一掃され、その後は、中央ユーラシアの草原にかつてのような遊牧帝国が再び登場することはなかった。

- 問9 下線部①について。明に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。
- 解答番号
- ① 建国者は黄巾の乱から頭角を現した。
- ② 元朝時代の政治の中枢であった中書省は廃止され、皇帝に権力を集中させた。
- ③ 鄭成功が大艦隊を率いて南海への大遠征を行なった。
- ④ 陽明学の考えを批判した朱子学が広まった。

Ⅲ 次の文(1)・(2)を読み、下の問い(問1～問13)に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(篠原琢「帝国論」『論点・西洋史学』、一部改変)

- 問1 下線部②について。
- ア) 19世紀のロシア帝国で書かれた『戦争と平和』の著者として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。
- 解答番号
- ① ドストエフスキー ② トゥルゲーネフ ③ プーシキン
- ④ チェーホフ ⑤ トルストイ

一般選抜入試(中期日程) 世界史(2月15日)

イ) 20世紀初頭のロシア帝国で起こった出来事に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① レーニンが中心となりエスエル(社会革命党)が結成された。
- ② コルホーズとよばれる集団農場を組織した。
- ③ 労働者や市民によるデモを弾圧する血の日曜日事件が起こった。
- ④ アレクサンドル2世が退位し、ロマノフ朝が崩壊した。

問2 下線部⑤について。第一次世界大戦終結後の、オスマン帝国と連合国間の講和条約として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① サン＝ジェルマン条約
- ② セーヴル条約
- ③ スイイ条約
- ④ トリアノン条約
- ⑤ ラバロ条約

問3 下線部③について。チェコスロヴァキアに関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ズデーデン地方のドイツへの割譲を決めたミュンヘン会議には参加していない。
- ② 第二次世界大戦終結後に、クーデタによって共産党が権力を掌握した。
- ③ 冷戦期の民主化運動は、ソ連軍の介入によって弾圧された。
- ④ 選挙で勝利した自主管理労組「連帯」を中心とした政権が発足した。

問4 下線部④について。ユーゴスラヴィアに関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 建国時は、セルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国(セルビア人・クロアチア人・スロヴェニア人王国)を名乗っていた。
- ② 第二次世界大戦の終結後は、ゴムウカ(ゴムルカ)が指導者となった。
- ③ コミンフォルムから除名された。
- ④ 首都のベオグラードで、第一回非同盟諸国首脳会議を開催した。

問5 下線部⑥について。イギリスのオセアニア地域における植民地政策に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① オーストラリアでは、全ての人種の移民を受け入れる政策をとった。
- ② ニュージーランドの植民地化の過程で、マオリ人からの抵抗にあった。
- ③ ハワイを併合した後、アメリカに割譲した。
- ④ タヒチ島とニューカレドニア諸島の領有権を得た。

問6 下線部④について。フランスの植民地政策に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ブール人による国家との戦争に勝利し、併合した。
- ② アフリカでは、サハラ砂漠地域からジブチを連結させる横断政策をとった。
- ③ モロッコをめぐってドイツと対立した後、保護国化した。
- ④ 第二次世界大戦終結後に独立を宣言したベトナムを再植民地化しようとした。

問7 下線部⑧について。国際連盟に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 本部はジュネーヴに設置された。
- ② 労働問題を協議する国際労働機関(ILO)が付置された。
- ③ ドイツは1930年代に脱退した。
- ④ 総会で世界人権宣言が採択された。

問8 下線部⑨について。第一次世界大戦終結後に委任統治領となった地域として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① イラン
- ② イラク
- ③ パレスチナ
- ④ トランスヨルダン
- ⑤ シリア

(2) 第二次世界大戦の終結以降、アジアやアフリカで多くの新興国が誕生した。これらの脱植民地化の過程には多くの暴力的な紛争が伴い、その後の国家建設にも影響を与えた。

第二次世界大戦期の東南アジア地域は日本が占領、あるいは進駐していた。だがこの地域でも、独立を求める運動が広がり、宗主国の拒絶にもかかわらずベトナムやインドネシアが独立を宣言するに至った。同時に、インドとパキスタンはイギリスから独立し、フィリピンはアメリカから独立して共和国となった。1950年代前半にはアフリカ北部の国々が独立し、後半には とギニアも独立を達成した。1960年は、17か国が独立する「アフリカの年」となった。

問9 下線部①について。アフリカ諸国の統一と連帯を目的として、1963年にアフリカ統一機構(OAU)が結成されました。アフリカ統一機構の結成時の加盟国として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① セネガル
- ② 南アフリカ
- ③ マリ
- ④ スーダン
- ⑤ ソマリア

問10 下線部②について。ベトナムに関する以下の事柄A～Dの順番として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- A. ベトナム社会主義共和国が成立した。
- B. ドンズー(東遊)運動を組織し、日本に留学生を送った。
- C. 「ドイモイ」(刷新)政策を実施し、外資を受け入れた。
- D. アメリカ軍が北ベトナムに軍事介入した。

- ① A→C→D→B
- ② A→C→B→D
- ③ B→A→C→D
- ④ B→D→A→C
- ⑤ B→D→C→A

問11 下線部⑤について。1920年代からインドネシア独立運動の中心となり、日本の降伏から間もない時期にインドネシア共和国の独立を宣言した指導者として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ネルー
- ② スカルノ
- ③ スハルト
- ④ マルコス
- ⑤ ホメイニ

英語	一般選抜入試(中期日程) 世界史(2月15日)	
日本史	問12 下線部①について。フィリピンに関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。 解答番号 39 ① アメリカの植民地となる以前は、スペインの支配下にあった。 ② ホセ・リサルらが、フィリピン民族同盟を結成し独立をうったえた。 ③ アギナルドを大統領とした共和国の樹立を宣言した。 ④ 冷戦期はリー・クアンユーが長期政権を率いた。	
世界史	問13 空欄 ア には、1957年にンクルマ（エンクルマ）が率いてイギリスからの独立を果たした共和国が入ります。空欄 ア に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。 解答番号 40 ① エジプト ② エチオピア ③ アルジェリア ④ コンゴ ⑤ ガーナ	
政治・経済		
数学 (文系型)		
数学 (理系型)		
物理		
化学		
生物		
正解・正解例 講評		
国語		